

執筆者紹介

かわらう よしひこ
河藤 佳彦 本学経済学部教授

〈編集後記〉

本号では、一本の論文を収録している。河藤論文は、人口減少と高齢化問題を都市部と地方部の相互連関的現象と位置付けた上で、地方部の視点からの同問題の乗り越え可能性を、栃木県芳賀郡茂木町におけるコミュニティビジネスの事例を通して分析したものである。当該自治体に対するアンケート調査と関係行政団体へのヒヤリング調査から明らかにされたのは、茂木町のコミュニティビジネスは、ビジネスとボランティア活動の融合体として特徴づけられることだ。この実践の実現には、地域課題の解決という価値観と収益確保という価値観の統合、すなわち「共通価値創造」により可能な限り収益を確保することが必要であることが同論文の結論である。「共通価値創造」のための条件は他方で、著者が冒頭で述べたように、茂木町が持っている「東京都心から 100km 県内に位置する地理優位性」や豊かな自然や歴史的資源などの客観的優位性を持たない地域においてはいかにして創造可能か、ということについても興味をわいた。本プロジェクトの今後の展開にも注目していきたい。(M)

2024 年 12 月 20 日発行

〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田 2 丁目 1 番 1 号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

The Institute for Social Science, Senshu University, Tokyo/Kawasaki, Japan

(発行者) 大矢根 淳

製作 株式会社グラフィカ・ウエマツ

新宿区下落合 4-21-19 目白 LK ビル 3F 電話 (03)6915-3835
